

2018年7月～12月 世界の主な水災害マップ

2019.3.11時点

イタリア (10月)
イタリア各地で激しい暴風雨を伴う悪天候が続き、高潮・洪水・土砂災害・倒木などによる被害が相次いだ。北部のベネチアでは街の75%が浸水した。死者30人、行方不明者1人。

ネパール (7月～9月)
モンスーン期に入ってから断続的な大雨により、南部のタライ地方を中心に各地で洪水や地滑りが発生、インフラにも大きな被害が出た。死者100人(7～9月の累計)。

ミャンマー (7月)
モンスーンの豪雨により中部バゴー管区のゾーチャウンダムの洪水吐が決壊、周辺地域が浸水した。ヤンゴン-マンダレー高速道路や鉄道が不通となり、交通障害が生じた。死者4人、行方不明者2人。

台風22号「マンクット」 (フィリピン、台湾、中国、タイ) (9月)
超大型台風22号はカテゴリ-3相当の勢力でフィリピン・ルソン島に上陸、10万人超が避難を強いられた。その後、台湾、中国南部、タイに上陸し、被害をもたらした。死者90人(フィリピン82人、台湾1人、中国本土6人、タイ1人)、行方不明者9人(フィ2人、タ7人)。

ハリケーン「フローレンス」 米国(ノースカロライナ州、サウスカロライナ州、バージニア州、フロリダ州) (9月)
「フローレンス」はカテゴリ-1の勢力でノースカロライナ州に上陸、南東部の複数の州に大雨・強風・高潮による被害をもたらした。死者55人(NC40人、SC9人、VA4人、FL2人)。

ナイジェリア (7月)
雷を伴う嵐による集中豪雨で、主に都市の河川や排水路が氾濫、川沿いの家屋流出などにより、多数の死者が出た。死者94人、行方不明者8人。

インド(ケララ州) (8月～10月)
8月以降、モンスーンによる大雨に主要ダムからの放流が加わり、1924年以來の大規模な洪水が生じた。死者359人、行方不明者7人(8～10月の累計)。

ハリケーン「マイケル」 米国(フロリダ州、ジョージア州、バージニア州)、中米(ホンジュラス、ニカラガアほか) (10月)
マイケルは一時カテゴリ-4に発達し、フロリダ州西部に上陸、甚大な高潮・強風・洪水被害を与えながら米南東部を横断した。死者66人(米国45人、中米21人)。

ラオス セナムノイ副ダム決壊 (7月)
数日間続いた大雨により、建設中の水力発電ダムの副ダムが決壊、大量の水が流出し、下流の村落が浸水した。建設上の不備や政府のダム管理など多くの問題点が指摘された。死者49人、行方不明者22人。

インドネシア「スンダ海峡津波」 (12月)
スンダ海峡のアナク・クラカタウ山が噴火し、山体崩落により大規模な津波が発生、ジャワ島西岸とスマトラ島南岸に大きな被害が出た。死者437人、行方不明者16人。

インドネシア「スラウェシ津波」 (中部スラウェシ州) (9月)
スラウェシ島で地震が発生、巨大な津波がパバル市など沿岸部を襲った。内陸部で液化化現象や地滑りが生じるなどして被害が拡大した。死者4,340人、行方不明者667人。

熱帯低気圧「ウスマン」 (フィリピン) (12月)
ウスマンがもたらした暴風雨により、フィリピン中部と東部で大規模な洪水と土砂崩れが発生した。死者156人、行方不明者26人。

死者 0～49人

死者 50～99人

死者 100～499人

死者 500～999人

死者 1000人～

※原則、死者数が先進国で10人以上、途上国で50人以上の水災害を抽出

